

## 持続可能な農産物生産拠点としてのランブ ン—インドネシアにおけるバイオ燃料と食料生産—

2009年8月3日に、横浜国立大学はインドネシアのランブン大学 (UNILA) と学術交流協定および学生交換に関する覚書を調印しました。本学のグローバルCOEプログラム「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」およびJST「リスク共生型環境再生リーダー育成」プログラムでは、ランブン大学を海外拠点の一つとして研究・教育活動を展開しています。

このワークショップでは、地球温暖化対策のひとつとして特に熱帯地域で注目を集めているバイオ燃料生産と食料生産の関係、持続可能性について討論いたします。

- 日時 2009年10月9日(金) 11:00~13:45
- 場所 横浜国立大学 教育文化ホール (中会議室)
- プログラム (英語のみ)

### 学長挨拶

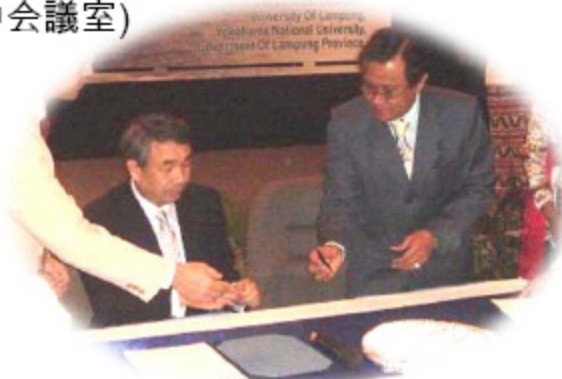
横浜国立大学 鈴木 邦雄 教授  
ランブン大学 Prof. Sugeng P Harianto

基調講演 Prof. Muhajir Utomo (UNILA前学長)

講演 Dr. Udin Hasanudin (UNILA)  
Dr. Wan Abbas Zakaria (UNILA)  
伊藤 公紀 教授 (横浜国大)  
仁科 一哉 フェロー (横浜国大)

総合討論 金子 信博 教授 (横浜国大)  
藤江 幸一 教授 (横浜国大)

司会 嘉田 良平 教授 (横浜国大)  
Prof. John Hendri (UNILA)



交流協定調印式 (2009年8月3日 ランブン)



主催：横浜国立大学 グローバルCOEプログラム  
「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」  
横浜国立大学 科学技術振興機構戦略的環境リーダー育成拠点形成事業  
「リスク共生型環境再生リーダー育成」

問い合わせ先：横浜国立大学環境情報研究院 グローバルCOE事務局 (担当：茂岡)  
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7  
TEL & FAX: 045-339-4497 E-mail: er-coe8@ynu.ac.jp  
申込先: er-coe3@ynu.ac.jp

